

平成 3 1 年度東京都立日野台高等学校学校経営計画

1 目指す学校像

「叡知・情操・健康」を教育目標に掲げ、生徒が高いレベルの文武両道を図り、より高い目標を自らに課しその達成に邁進することを通じて、グローバル社会において臆することなく自分の考えを述べることのできる人間を育成する。

- (1) 本校及び本校生徒に期待される学校像・生徒像を常に目指し、教育活動において生徒一人一人を本当に大切にできる学校
- (2) 生徒と教員の信頼関係に基づき、生徒の教科等に対する興味・関心を喚起する授業が行われ、学校行事・生徒会活動・部活動が生徒の主体性により行われる学校
- (3) 教職員が常に自己の専門教科や担当業務等に関する研鑽を怠らず、業務遂行に当たっては互いに助け合ってよりよい学校づくりに励むことのできる学校
- (4) 生徒の進路希望を学校全体で支援してその実現を図るとともに、生徒・保護者・教職員・地域の人々が誇りにできる学校

2 中期的目標と方策

(1) 学習指導の充実

「進学指導推進校」として都民に期待される進学実績を一層向上させる。授業改善を目的とした校内研修会等により、授業の質の向上を図るとともに、補習・講習の充実、家庭学習の充実を図る。

(2) 進路指導の充実

キャリア教育の全体計画を策定しその充実を図るとともに、これまで蓄積したデータに基づく 3 年間を見通した指導を実践する。

(3) 生活指導の充実

「日野台高校生活スタンダード」を様々な場面で生徒に提示し、生徒自らが生活を律することができるようにする。また、活発に行われている学校行事・部活動を維持発展させ心身の練磨を図るとともに、SNS の適切な利用等時間を有効活用する能力を育成し、けじめのある学校生活を送らせる指導を徹底する。

(4) 広報活動の充実

本校の特色ある教育活動について、最新の情報をホームページやパンフレット等で積極的に提供する。また、学習塾訪問や説明会を行う等、広く効果的に広報活動を行う。

(5) 環境・安全・健康に配慮した教育の展開

生徒の心身の健康及び体力の向上を促進させるための環境整備を図る。グラウンド改修工事に当たり、学校生活の安全確保に配慮した学校生活の送り方について適切に指導する。

防災教育については、生徒とともに企画立案し災害発生時の体制を整備する。

(6) 特色ある教育の展開

教科や総合的な学習の時間、特別活動において国際教育、オリンピック・パラリンピック教育及び防災教育に関連する指導を展開するとともに、「英語教育推進校」「伝統・文化教育推進校」及び「アクティブラーニング推進校」として、より専門的かつ継続的な活動を実施する。

3 今年度の取組目標と方策

次期学習指導要領並びに高大接続改革を踏まえ、新しい教育活動に積極的に取組み、生徒に「挑む心」を醸成し「考えて実行する」態度を育成するために次の教育活動を行う。

(1) 教育活動の目標と方策

① 学習指導

目 標	方 策
・センター試験、国公立二次試験及び難関私立大入試の得点力の向上を目指す	・教育課程の改善を図る ・大学入試問題を分析し、授業・定期考査に反映させる
・学力スタンダードを活用した教科指導を行う。	・教科会を充実し、授業進度、教材の共通化を図る ・定期考査の共通化を図る

<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力向上と定着を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅学習を定着させるために、予習・復習及び課題を指示し、小テスト等を実施する 教科担当、担任、部活動顧問が連携して学習時間の確保に努める 自習室での学習や学習支援教材を活用し、自主的に学習する習慣を身につけさせる 長期休業日（特に冬期）の補習を充実する
<ul style="list-style-type: none"> 授業改善を推進し考える授業を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを実現する。 教員相互の授業参観・研究授業・授業公開を積極的に行う 1時間ごとの授業のねらいを明確にし、分かる授業、考える授業を展開する 指導教諭を中心とした授業力向上のための校内研修を実施する 生徒による授業評価を年間2回行い、評価に基づく授業改善を行う 授業や総合的な探究の時間において、探究的な活動を充実する
<ul style="list-style-type: none"> 授業時数を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> チャイム始業など50分の授業を十分に活用した学習指導を行う 土曜授業を年間20回実施する
<ul style="list-style-type: none"> 充実した学校図書館教育を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動を推進し、図書館と教科との連携を図る

② 進路指導

目 標	方 策
<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 「日野台 a Mond Project」を継続し、キャリア教育の充実を図る 外部人材を活用し、学習環境等を充実させ、個々の生徒応じた指導を実践する
<ul style="list-style-type: none"> 組織的な進路指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部が進路データを一元管理し、進路指導部と学年・各教科が連携した指導を行う ケース会議、模擬試験分析会及び進路行事の充実を図る 面接指導（2者及び3者）の充実を図る 保護者対象の進路学習会の充実を図る
<ul style="list-style-type: none"> 進路自己決定への支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 高い目標をもたせ、最後まであきらめない進路指導を行う

③ 生活指導

目 標	方 策
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする、時間を守る、制服を正しく着用する等の基本的な生活習慣の指導を徹底する ホームルームにおける生活指導を充実する スケジュール管理のために手帳などを活用した指導を行う 「日野台高校生活スタンダード」を定着させる 下校時間を守らせ、勉強と部活・学校行事の切り替えを日常的に指導する 交通マナー、盗難防止の指導を徹底する SNS日野台ルールを定着させる
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の健全育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会をとらえて、生命の尊重と自己肯定感を高め信頼できる人間関係をつくり、

	いじめや体罰の根絶に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・教科「人間と社会」や地域交流活動を通じて、社会の一員である自覚を促し、思いやりのある協働の精神を育む。 ・セイフティ教室・人権尊重教育、薬物乱用防止教室などを実施する
・校内美化に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別を日常的に行う ・清掃活動を充実させ、教室内や廊下などの美化に日常的に努める

④ 広報活動

目 標	方 策
・組織的な学校 PR	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制で広報活動を展開する ・校内及び校外の説明会等の充実を図る ・学校案内・ポスターの充実を図り、わかりやすく丁寧な説明を行う ・進学塾への広報活動を充実する ・HP やツイッターを適切に管理・更新し、最新の学校情報の提供を行う

⑤ 特別活動・部活動

目 標	方 策
・企画力や運営力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱祭や常磐樹祭の学校行事を充実させ、自主性・創造性を伸ばさせる支援を行う
・体力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の高い加入率を維持し、体力の向上を図る部活動が活発に行われるようにする
・安全指導を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動において、事故や怪我が起こらないように十分に配慮する ・新入生への安全指導の徹底を図る
・周年行事を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を中心に計画的に準備をすすめ、40周年行事を実施する

⑥ 環境・健康・安全

目 標	方 策
・心と身体の健康づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が日常的に、生徒の心身の状況を把握し、適切な指導を行う ・スクールカウンセラーと連携した、教育相談の充実を図る ・生徒理解のための教員研修を充実する
・省エネの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水、CO₂削減など、環境保全や省エネルギーに努める
・ライフワーク・バランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、部活動指導員等を活用し、週当たりの在校時間が40時間を超える教員をゼロにする。 ・My 定時退庁日を設ける

⑦ 経営企画室

目 標	方 策
・積極的に学校経営への参画を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営支援センターとの連携を強化する ・予算の適正執行・適正管理に努める
・学習環境の維持に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検・情報収集を行い、グラウンド改修工事中の校内環境の整備に努める

⑧ 特色ある教育活動

目 標	方 策
・新学習指導要領にむけた教育	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドデザインを確立し、新学習指導要領

課程の検討	に対応した教育課程の検討を行う ・教科会を充実させカリキュラム・マネジメントの実践に取り組む
・主権者教育の充実	・公民科の授業やHRにおいて主権者教育の充実を図る ・選挙関連の講演会・体験学習を実施する
・国際教育の推進	・国際教育推進委員会と各学年が連携して国際教育講演会や交流会の定着を図るとともに、海外帰国生徒の受け入れを積極的に教育活動に活用する
・英語教育の推進	・英語力の向上のため、4技能（聞く、話す、読む、書く）の伸長を図る ・夏期の語学研修の充実を図る
・オリンピック・パラリンピック教育の推進	・総合的な学習の時間等で、共生社会の実現に必要な「ボランティアマインド」及び「環境保全の態度」の育成を図る
・日本の伝統文化教育の充実	・日本の伝統・文化の良さを理解し、日本の良さを発信できる生徒、互いの文化を尊重した交流ができる生徒の育成を図る
・アクティブラーニングの推進	・各教科において3つの学力を確実に伸長させる、主体的・対話的な学びの実現を図る
・地域等と連携した防災教育の推進	・宿泊防災訓練・避難訓練を地域住民や関係機関と連携し適切に実施する ・災害時マニュアルを整備し、校内の防災体制を点検し必要な改善策を講じる
・学校評価の一層の活用	・学校評価をより一層学校経営に反映させ、地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりの推進に努める

(2) 重点目標と方策

① [難関大学への合格実績等]

大学入試センター試験の受験者数が290名以上となるよう、諦めさせない指導を継続する。中でも、5教科7科目の受験者数が60名以上となるよう生徒を励ます。また、現役の国立大学合格者数50名以上、うち難関国立5名以上、早慶上智理科大30名以上、GMARCH200名以上の合格者数を目指した指導を実践する。

② [学校生活の充実度]

学校評価アンケートにおいて、全ての項目において肯定的な回答が80%を超えるよう、分掌・学年・教科・部活動顧問が連携して学校生活の充実に取り組む。

③ [家庭学習の時間]

学校評価アンケートにおいて、家庭学習時間が1年生2時間、2年生3時間を超える生徒が50%以上となるよう、時間の有効活用についての指導を強化する。

④ [生徒募集対策]

オープンスクール、学校見学、学校説明会などを積極的に広報し参加者数が7000名以上となり、入学者選抜一次募集で最終応募倍率が1.5倍以上となるよう努める。